

平成 28 年度 定時 会員 総会 議案

平成 28 年度
事業報告（報告事項）
損益計算書〈正味財産増減計算書〉、
貸借対照表、財産目録（承認事項）
監査報告書

自平成 28 年 1 月 1 日 至 平成 28 年 12 月 31 日

平成 29 年度
事業計画、収支予算書（報告事項）

自平成 29 年 1 月 1 日 至 平成 29 年 12 月 31 日

※注記 1

「会員（社員）総会参考書類」を本書は兼ねています。

※注記 2

「平成 28 年度定時会員総会招集通知」が裏表紙にあります。

平成 29 年 3 月 3 日
公益社団法人北海道倶楽部

平成 28 年度定時会員総会 議案

平成 28 年度 事業報告、正味財産増減計算書、貸借対照表、財産目録 監査報告書

自平成 28 年 1 月 1 日 至 平成 28 年 12 月 31 日

報告事項

「平成 28 年度庶務事項報告（総会、理事会報告 詳細は各議事録に記録）」
・・・・・・・・・・1 ページ

「平成 28 年度事業報告」
・・・・・・・・・・11 ページ

「平成 28 年度 会員異動状況」
・・・・・・・・・・18 ページ

承認事項

「損益計算書（正味財産増減計算書）」
・・・・・・・・・・19 ページ

「貸借対照表」
・・・・・・・・・・20 ページ

「財産目録」
・・・・・・・・・・21 ページ

「キャッシュフロー計算書」
・・・・・・・・・・22 ページ

「計算書類に対する注記」
・・・・・・・・・・23 ページ

「監査報告書」
・・・・・・・・・・24 ページ

平成 29 年度 事業計画、収支予算書（報告事項）

自平成 29 年 1 月 1 日 至 平成 29 年 12 月 31 日

「平成 29 年度事業計画書」
・・・・・・・・・・25 ページ

「平成 29 年度収支予算書」
・・・・・・・・・・28 ページ

（金額は原則円単位です。）

平成 28 年度庶務事項報告（総会、理事会報告 詳細は議事録に記録）

平成 28 年 1 月 1 日から平成 28 年 12 月 31 日まで

種 別	概 要
<p>1. 総会 平成 27 年度定時会員総会 3 月 9 日</p>	<p>「平成 27 年度 事業報告（報告事項）損益計算書（正味財産増減計算書）、貸借対照表、財産目録（承認事項）」の件 議長は事務局長に説明を求めた。 事務局長は配付資料の確認の後、資料の 1～23 頁に基づき説明した。 議長は監事に監査報告を求めた。 監事は「平成 27 年度の事業・会計報告につき諸資料、帳票、帳簿などを詳細に調査した結果、適法かつ適正であること」、「理事の職務遂行についても適法かつ適正である」と報告した。 議長はこの議案につき質問、意見を求めたが、全員異議無しとの声により本議案は原案通り承認されたことを告げた。</p> <p>「平成 28 年度 事業計画、収支予算書（報告事項）」承認の件 議長は事務局長に説明を求めた。 事務局長は配布資料 25～28 頁に基づき説明した。 議長はこの議案につき質問、意見を求めた。全員異議無しとの声により本報告議案は原案通り承認されたことを告げた。</p> <p>議長から、全般にわたり意見を募った。（詳細省略）最後に、西村理事長から平成 18 年に理事、平成 19 年に副理事長、平成 21 年に理事長の職を歴任してきたが、本総会をもって任期終了に伴い退任する旨のご挨拶がありました。以上により本日の全議案は原案のとおり決議され、審議は終了したので、午後 1 時 30 分過ぎ、議長は平成 27 年度定時会員総会の終了を告げた。 (於 東京 恵比寿 サッポロビール(株) 本社会議室)</p>
<p>2. 理事会（評議員会） 2 月 18 日</p> <p>各理事会では、代表理事及び業務執行理事の職務の執行状況の報告が行われている。 書面理事会を除き、各理事会の前に同様の議案で理事陪席の上評議員会を開催している。</p>	<p>第 1 号議案 「事業報告等に係る提出書」[内閣府申請書類] 提出について決議する件</p> <p>第 2 号議案 平成 27 年度会員総会に係る件(定款第 29 条第 1 項第 1 号の事項) (別冊の資料、内閣総理大臣宛「事業報告等に係る提出書」一式の中の「総会議案」につき審議をお願いしたい。)</p> <p>第 3 号議案 新入会員審査の件、会員数ほかについて 新入会員は別冊記載のとおり。 会費未納（3 年以上）会員の会員資格喪失者について</p> <p>第 4 号議案 その他</p> <p>(1) 新年交礼会実施結果について キャンペーン「北方領土返還」、「北海道新幹線早期実現」、「地域振興・ふるさと納税」をテーマに 1 月 22 日（金）18 時 ホテルニューオータニ 麗の間で多数の出席者のもと盛大にキャンペーン集会が行われた。</p> <p>(2) 総会終了後任期終了となる評議員ほか役員の推薦について</p> <p>(3) 本年度講演会について</p>

種 別	概 要
	<p>(4) 4月からの事務局業務について</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 企画、会報制作ほかの業務委託契約は昨年の契約と同様に1年間の業務委託契約を締結したい。 2) その他、本年度対応事項など <p>(5) 平成28年度寄附のお願いの件 昨年度と同様に寄附のお願いについて文書を発送する。</p> <p>(6) その他、評議員会からの報告事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 広報紙「北海道 "NOW"」(会報)自治体紹介ページについて 1月号で北海道根室振興局1市4町の掲載が終了したので、北海道と協議し3月号から増ページのうえ1号あたり2自治体の紹介を掲載する。3月号は北海道新幹線が3月26日に開業することに鑑み、北斗市と木古内町を掲載する。以後の掲載予定は別表のとおり。 <p>(7) 今後の会議予定</p> <p style="text-align: right;">(於 北海道東京事務所 会議室)</p>
<p>3月9日 (臨時書面理事会)</p>	<p>第1号議案 本日の総会で選任された理事について、会長1名、副会長若干名、理事長1名、副理事長若干名及び常務理事1名を定める件(定款第21条第2項、第29条第1項第4号)</p> <p>別表(「定款21条第2項にもとづき理事会の決議により定める理事の役職」)の通り定めることとする。任期は選任後2年以内に終了する事業年度のうち、最終のものに関する定時会員総会の終結の時までとする。但し、再任を妨げない。</p> <p>なお、選任された者は全員その就任を承諾した。</p> <p>第2号議案 評議員、相談役、顧問及び参与を推薦する件(定款第24条第2項、第25条第2項)</p> <p>別表(「定款25条第2項にもとづき理事会が推薦する相談役、顧問及び参与」、「定款第24条第2項にもとづき理事会が推薦する評議員」)の通り定める。任期は選任後2年以内に終了する事業年度のうち、最終のものに関する定時会員総会の終結の時までとする。但し、再任を妨げない。</p> <p>なお、登録会員については所属する維持会員において、他の登録会員に変更する意向があれば、その登録会員を推薦する。名前が空欄についての役員も同じく維持会員の意向に従い推薦する。(理事長が委嘱後、本人からの就任承諾書の提出を以て選任が確定する。)</p> <p>第3号議案 連絡事項(今後の理事会等の予定)</p> <p>理事会、交流の夕べ ほか</p> <p style="text-align: right;">(於 東京 恵比寿 サッポロビール(株) 本社会議室)</p>
<p>4月28日 (書面理事会)</p>	<p>第1号議案 役員就任の件</p> <p>理事、監事の重任。新任者については、就任承諾を頂く、登記完了後、内閣府に届けました。(参考 内閣府提出書類一覧表)</p> <p>3月9日の理事会決議により理事長に推薦し、理事長が委嘱し本人の就任承諾が得られた評議員、相談役、顧問、及び参与の就任承諾状況</p>

種 別	概 要
	<p>は4月27日現在で別表の通りです。以後、就任承諾書が送付されました分は次回理事会で報告します。</p> <p>第2号議案 新入会員審査の件 第3号議案 その他（報告承認事項）の件</p> <p>(1) 寄附金の状況 4月28日現在 応募 116人、2,747,000円 入金者数 100人、入金実績 2,317,000円</p> <p>(2) キャンペーンの様況（平成28年4月27日現在）</p> <p>① ブラウンリボンバッジの様況 本年度頒布数・金額／同累計 754個・127,000円／27,861個・4,781,363円</p> <p>② 千島桜バッジの様況 本年度頒布数／同累計・金額 162個・32,500円／1,425個・303,820円</p> <p>③ 新幹線バッジの様況 本年度頒布数／同累計・金額 4個・1,000円／3,228個・528,408円</p> <p>④ ちぎれ千島に雲がとぶCDの様況 本年度頒布数／同累計・金額 0枚・0円／476個・380,600円</p> <p>(3) 賛同・後援名義使用について（事後承認）</p> <p>① 「大河ドラマ『北で燃えたサムライ村橋久成』を誘致する会」への「賛同」のお願い</p> <p>② 「2016年青少年のための科学の祭典-北海道内の大会」後援名義使用承認のお願い</p> <p>(4) 講演会について (5) 今後の予定ほか (6) 理事会予定</p>
6月16日	<p>第1号議案 倶楽部役員決定の件 評議員決定 第2号議案 受取会費の配賦ほかの件</p> <p>(1) 受取会費の公益目的事業収益と管理業務（法人会計）収益との配賦割合の固定化を図る件 (2) 平成27年法人会計の剰余金を平成28年の公益目的事業費として費消することを具体的に示す件</p> <p>第3号議案 交流の夕べの件</p> <p>(1) 日時：平成28年8月4日（木）18～20時 (2) 場所：銀座クラシックホール (3) テーマ：北海道倶楽部の下記キャンペーンを紹介、広報する。</p> <p>① 北海道新幹線早期実現推進「新幹線早期実現」バッジ キャンペーン ② 北方領土返還運動推進「ブラウンリボン」バッジ、「千島桜」バッジ</p>

種 別	概 要
	<p>ジ キャンペーン（「ちぎれ千島に雲が飛ぶ」CD）</p> <p>③ 地域貢献</p> <p>夕張市から本年も夕張支援のため、夕張メロン配布等の協力をした い。（今回の具体的な方法は部会で検討することとしたい。）</p> <p>(4) 北海道関係者の交流に資する。</p> <p>(5) アトラクション（「ビヤホールの日」のアトラクション予定）</p> <p>(6) 詳細は部会で検討する。予算は昨年収支表実績に準ずる。</p> <p>第4号議案 第35回北方領土ノサップ岬マラソン大会協力の件（添付資料： 「協賛のお願い」ほか）</p> <p>第5号議案 北海道フェア参加の件</p> <p>昨年同様代々木の北海道フェアに参加する。（詳細は部会で検討する。）</p> <p>(1) 参加内容：</p> <p>① 北海道情報の発信（倶楽部キャンペーンについての広報を主体と する。）</p> <p>② テント内にテーブルを設置しパネル、パンフレットの展示、バッ ジの展示・配布。</p> <p>③ 北方領土返還要求推進の署名活動（北海道担当部局や主催団体と の事前調整が必要）</p> <p>④ 「北海道情報紙“北海道NOW”を代々木近辺に新聞折込配布」を昨 年同様実施の予定。</p> <p>(2) 日程：9月29日（木）～10月2日（日） 本年は1日増え4日間</p> <p>(3) 場所：代々木公園B地区イベント広場（NHKホール横）</p> <p>第6号議案 平成28年版会員名簿（含む、北海道関連資料）</p> <p>発行10月1日 印刷部数1100部</p> <p>第7号議案 交流イベントの件</p> <p>(1) 本年の交流イベントは「明治記念館」で、10月25日（火）18時に 行う予定。</p> <p>(2) カボチャ配布など昨年同様に実施の予定であるが、参加者減少対応な ど、詳細については部会で検討する。</p> <p>第8号議案 特別講演会の件</p> <p>第9号議案 その他、イベント協力依頼等及び結果報告の件（添付資料参照）</p> <p>(1) ふるさと北海道応援フォーラム 後援名義 承諾依頼</p> <p>(2) なまらいいっしょ北海道フェアの協力依頼</p> <p>(3) 「大河ドラマ『北で燃えたサムライ村橋久成』を誘致する会」「賛同 のお願いの「結果報告」</p> <p>第10号議案 会員入退会、会員推移の件</p> <p>第11号議案 その他</p> <p>(1) 北方領土 ビザ無し交流推薦者銓衡</p> <p>(2) 寄附金の状況</p> <p>6月13日現在 応募119人、2,861,000円 入金者数115人、入</p>

種 別	概 要
	<p>金実績 2,681,000 円</p> <p>(3) キャンペーンの様況 (平成 28 年 6 月 15 日現在)</p> <p>① ブラウンリボンバッジの様況 本年度頒布数・金額/同累計 797 個・137,500 円/ 27,904 個・4,791,863 円</p> <p>② 千島桜バッジの様況 本年度頒布数/同累計・金額 172 個・35,000 円/ 1,435 個・306,320 円</p> <p>③ 新幹線バッジの様況 本年度頒布数/同累計・金額 4 個・1,000 円/ 3,228 個・528,408 円</p> <p>④ ちぎれ千島に雲がとぶ CD の様況 本年度頒布数/同累計・金額 0 枚・0 円/ 476 枚・380,600 円</p> <p>(4) 平成 28 年の通常理事会等予定 (具体の日程は別途調整する場合がある。)</p> <p>(於 北海道東京事務所 会議室)</p>
<p>8 月 3 1 日 (書面理事会)</p>	<p>第 1 号議案 評議員辞任、就任の件</p> <p>第 2 号議案 新入会員審査の件</p> <p>第 3 号議案 評議員会答申の件</p> <p>8 月 23 日の評議員会で理事会に対する答申として次のような議決がありました。ご承認願います。</p> <p>1. 北海道等からの協力要請の対応体制は、総務部会の担当とし、個別案件の対応をする主査を選任し推進する。</p> <p>2. 市町村紹介冊子は事務局案の通り、根室振興局・渡島振興局の管内市町の紹介冊子作成と配布を行う。予算 150 万円程度。</p> <p>3. HP 再整備は間瀬評議員会副議長を主査として再整備に対応する。</p> <p>第 4 号議案 その他 (報告、承認事項) の件</p> <p>(1) 寄附金の様況 8 月 31 日現在 応募 123 人、3,069,000 円 入金者数 120 人、入金実績 2,909,000 円</p> <p>(2) キャンペーンの様況 (平成 28 年 8 月 31 日現在)</p> <p>① ブラウンリボンバッジの様況 本年度頒布数・金額/同累計 1,620 個・257,600 円/ 28,727 個・4,911,963 円</p> <p>② 千島桜バッジの様況 本年度頒布数/同累計・金額 486 個・58,350 円/ 1,749 個・329,670 円</p> <p>③ 新幹線バッジの様況 本年度頒布数/同累計・金額 13 個・3,250 円/ 3,237 個・530,158 円</p>








種 別	概 要
	<p>④ ちぎれ千島に雲がとぶ CD の状況 本年度頒布数／同累計・金額 0 枚・0 円／476 個・380,600 円</p> <p>(3) 交流の夕べ開催について 倶楽部のキャンペーン集会を行った。 日時：8 月 4 日（木）18 時 場所：銀座七丁目ライオン 会費：夕張支援会費 1 万円（夕張メロン付き）、通常会費 7 千円 参加：127 人</p> <p>(4) 平成 28 年ふるさと北海道応援フォーラム後援報告 下記の通り倶楽部後援のフォーラムが行われた。高橋知事の要請により、松田会長が出席し、知事に代わり交流会の挨拶を行った。 三回目の今回は前回より更に盛り上がった。 日時：8 月 5 日（金） 場所：ホテルメトロポリタンエドモント 主催：北海道 経済部 後援：北海道倶楽部ほか</p> <p>(5) 特別講演会開催について 日時：平成 28 年 8 月 23 日 13 時 30 分 場所：全国町村会館会議室 演題：東京駅百年と北海道新幹線 講師：江藤尚志先生（東日本旅客鉄道株式会社 取締役・東京駅長 倶楽部会員） 費用：101,952 円（主として会場費、謝礼金は無し） 参加：約 50 人（会員、一般） 内容：鉄道と東京駅の歴史、北海道新幹線の現況をお話しされた。 知らないことが多く、参加者に好評を博した。</p> <p>(6) 第 35 回北方領土ノサップ岬マラソン大会への協力 倶楽部が協力する標記大会が開催された。今年は天候が悪く、参加申込者 730 人、出場者 492 人であった。今年は、開会式・表彰式に濱屋喜芳評議員が出席（自費による）した。 主催：北方領土ノサップ岬マラソン大会実行委員会（根室市などで構成） 後援、協力ほか：外務省、北海道倶楽部など 日時：8 月 21 日（日曜日） 場所：ノサップ岬 費用：122,858 円 (北海道倶楽部賞、ブラウンリボン・千島桜 バッジ 300 セット提供、プログラム広告料など)</p> <p>(7) イベント、広報等の予定 1) 情報展示イベント、代々木北海道フェア参加 2) 交流イベント 3) 北海道 NOW 別冊 10 万部を新聞折込 4) 市町村紹介冊子発行、ポスティング配布 5) 平成 28 年版会員名簿発行（10 月 1 日予定）</p> <p>(8) 理事会予定</p>
10 月 20 日	<p>第 1 号議案 北海道フェア in 代々木出展報告の件 代々木で開催された恒例の「北海道フェア in 代々木」は天候に恵まれ</p>

種 別	概 要
	<p>(前年比 106.8%) 40.1 万人の入場者であった。(前年は 37.7 万人)</p> <p>今年も倶楽部は会場周辺の全国紙朝刊に北海道情報紙「北海道 `NOW」を 11 万部印刷し、新聞に折り込み、倶楽部キャンペーンの広報活動を行った。印刷費 42.7 万円、折込費 48 万円、合計 91 万円</p> <p>今年、「北海道の市町をご紹介します」を 2 万部作成し、ポスティングした。(前年の公益事業の剰余金を充当)</p> <p>当日の入場者に向けて倶楽部のブースを設け、北方領土返還キャンペーン、北海道新幹線キャンペーンなどを行った。</p> <p>倶楽部のブースでは、キャンペーンバッジや CD の販売、さらに「はぼまい昆布しょうゆ」、「こんぶしお」の無料配布(合計 300 個、費用 94,806 円)を行い、盛り上げた。</p> <p>今年も北海道北方領土対策本部が倶楽部のブース前に署名コーナーを設け、内閣府北方対策本部から応援が来て、着ぐるみ「エリカちゃん」も登場した。同本部の HP でも紹介された。</p> <p>北方領土問題を多くの入場者にアピールし、多数の署名(合計 1,765 筆(昨年 1,543 筆))が寄せられた。来年も、署名活動に協力したい。</p> <p>関連の事業収支については請求書未達のため次回報告する。</p> <p>第 2 号議案 交流イベント、平成 2 9 年新年交礼会の件</p> <p>(1) ご案内状を発送済みである。本年の交流イベントは「明治記念館」で、10 月 25 日(火) 18 時に開催予定である。昨年と同様の次第で、「地域活性化」「北方領土返還」「新幹線早期実現」のキャンペーンを行う。</p> <p>昨年に続き、北海道根室振興局が 2 人参加でブースを出展し、管内商品の紹介、試食、景品の提供などを行い地域の振興のための活動を行う予定である。</p> <p>(2) 平成 2 9 年新年交礼会は下記日時、場所で昨年に準じ、会員以外の一般の参加者にも広く呼びかけ北海道のためのキャンペーン等の年初事業として開催する。</p> <p>平成 2 9 年 1 月 27 日(金) 1 8 時 ホテルニューオータニ 麗の間</p> <p>第 3 号議案 その他、報告事項</p> <p>(1) 平成 2 8 年版名簿の発行配布(1,100 部印刷 1 0 月 1 日発行)</p> <p>名簿の他、北方領土問題の解説(間瀬雅晴評議員会議長執筆)他を掲載し、名簿以外の内容を充実させた。(製作費 39 万円、予定広告料 120 万円)</p> <p>(2) 冊子「北海道の市と町をご紹介します」の発行配布(2 万部発行配布、1 0 月 1 日発行)北方領土隣接地域の根室振興局・新幹線開業の渡島総合振興局の管内市町を掲載した。製作費 135 万円、配布費用 17.5 万円 合計 152.5 万円</p> <p>(3) 今後刊行物などが増えることも考え、刊行物や HP などに「会員等の企業の広告」を掲載し、そこに購読者などが使える「サービス券」を付けるなど、企業と会員などの双方にメリットが出るような具体的企画を評議員会・部会で検討して頂くこととしたい。</p>

種 別	概 要
	<p>(4) NHK 大河ドラマ誘致の報告が田中事務局長からあり、残念な結果になりそうとの事です。</p> <p>(5) 寄附金の状況 10/18 実績 301.7 万円、123 人</p> <p>(6) 会費の入金状況 10/18 実績 822 万円 (内訳正会員 231 万円 維持会員 591 万円)</p> <p>(7) ブラウンリボンバッジの状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(独) 北方領土問題対策協会から大量の発注が入り 11 月 7 日納入予定である。 ・19 日内閣府北方対策本部の HP にバッジの紹介をさせてもらいたいとの電話連絡があった。 <p>本年度 (10/18 現在) 2,283 個、累計 29,390 個</p> <p>(8) 千島桜バッジの状況 本年度 (10/18 現在) 618 個、累計 1,881 個</p> <p>(9) 北海道新幹線バッジの状況 本年度 (10/18 現在) 33 個、累計 3,257 個</p> <p>(10) ちぎれ千島に雲がとぶ CD の状況 本年度 (10/18 現在) 0 枚 累計 476 枚</p> <p>(11) 来年度の事業計画・予算</p> <p>(12) HP 改定打合せの報告</p> <p>(13) 通常理事会・評議員会予定 (実際の日程は別途調整する場合がある。)</p> <p>(14) イベント等の予定</p> <p>第 4 号議案 会員入退会、会員推移の件 (於 北海道東京事務所 会議室)</p>
12月15日	<p>第 1 号議案 平成 29 年度事業計画及び収支予算並びに資金調達及び設備投資の見込みの件 (別紙参照)</p> <p>定款第 50 条の定めにより、標記の件については、毎事業年度開始前までに理事長が作成し、理事会の承認を得て事業年度開始前までに行政庁に提出し、会員総会に報告するとされている。</p> <p>(1) 事業計画書について 平成 29 年の事業計画を作成した。基本的に平成 28 年度事業計画書に準じ作成した。以下の 2 項について特記する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 地域活性化事業支援の項で、10 月理事会において北海道根室振興局から要望のあった管内の地域振興について、協力依頼を受けた件に対応する 2) 広報活動の項で、昨年度開始した、道内各自治体の紹介ページ (ふるさと納税なども紹介) を継続するとともに、これらを収録した小冊子「北海道の市町村をご紹介」の発行を企画する。但し、HP での刊行など財源確保を条件とする。若しくは、HP での刊行も考える。 <p>(2) 収支予算書について</p>

種 別	概 要
	<p>平成28年の仮決算を踏まえ、平成29年度収支予算を作成した。</p> <p>(3) 資金調達及び設備投資の見込み</p> <p>第2号議案 平成28年事業報告等の作成、日程の方針について</p> <p>(1) 平成28年度「事業報告」等は昨年に準じて作成しその後、監査を受け、2月理事会で承認後招集通知、議案を発送し、3月の定時会員総会で報告・承認を得ることとしたい。総会は日程調整の上、会議室を別途借用し開催したい。(当ビルの会議室は来年予約開始)</p> <p>(2) なお、3月の定時会員総会は役員改選期ではない。</p> <p>第3号議案 イベントの開催及び参加について</p> <p>(1) 本年の交流イベントは「明治記念館」で、10月25日(火)18時に約300人の参加者を迎え開催した。昨年と同様の次第で、「地域活性化」「北方領土返還」「新幹線早期実現」のキャンペーンを行った。昨年に続き、北海道根室振興局から2人参加し、ブースを出展し、管内商品の紹介、試食、景品の提供などを行い地域の振興のための活動を行った。</p> <p>(2) 「北方領土返還要求中央アピール行進」参加報告 本年12月1日の標記行動(参加者500人)に岡村理事長以下総計4名で参加した。</p> <p>(3) 「北方領土返還要求全国大会」に参加予定 恒例の標記全国大会(平成29年2月7日、国立劇場 大劇場)に参加する。</p> <p>(4) 「平成29年新年交礼会」開催予定 10月理事会で決議の通り会員以外の一般の参加者にも広く呼びかけ北海道のためのキャンペーン等の年初事業として例年に準じ下記の要領で開催する。 平成29年1月27日(金)18時 ホテルニューオータニ 麗の間</p> <p>第4号議案 新入会員審査の件、会員数、最新役員一覧ほかについて</p> <p>第5号議案 その他報告事項</p> <p>(1) 岡村理事長の負担でemt株式会社の協力を得て、間瀬評議員会副議長が主査、鈴木評議員会議長が参加して事務局で行っていた、HPのリニューアル業務がほぼ終了した。(別紙のとおり)今後更なる改良を加える予定である。</p> <p>(2) 北海道150年事業(別紙参照、実行委員会に参加)に協力することとしたい。</p> <p>(3) 前理事会で決議されたところであるが、刊行物やHPなどに「会員等の企業の広告」を掲載し、そこに購読者などが使える「サービス券」を付けるなど、倶楽部が企業と会員など双方にメリットが出る具体的事業推進の件は、主幹部会を総務部会として推進することとしたい。</p> <p>(4) 10月28、29日「なまらいいっしょ北海道フェア」開催結果報告(別</p>

種 別	概 要
	<p>紙のとおり)</p> <p>(5) 平成 29 年北方領土返還要求全国大会 (別紙のとおり) 参加について</p> <p>(6) 寄附金の状況 12 月 12 日現在実績 305 万円、134 人 平成 29 年度寄附金の募集は 28 年度と同様とし、3 月開始の予定。</p> <p>(7) 会費の入金状況 ① 12 月 12 日現在実績 841.5 万円 (内訳正会員 244.5 万円 維持 会員 597 万円) ② 平成 29 年度会費 (1 月～12 月分) の請求は 4 月の予定。</p> <p>(8) ブラウンリボンバッジの状況 本年度 (12/12 現在) 11,893 個、累計 39,000 個</p> <p>(9) 千島桜バッジの状況 本年度 (12/12 現在) 680 個、累計 1,943 個</p> <p>(10) 北海道新幹線バッジの状況 本年度 (12/12 現在) 37 個、累計 3,261 個</p> <p>(11) ちぎれ千島に雲がとぶ (CD) の状況 本年度 (12/12 現在) 0 枚 累計 476 枚</p> <p>(12) 理事会・評議員会・定時会員総会予定 (於 北海道東京事務所 会議室)</p>



種別	概要		
<p>1. キャンペーン推進のための事業 (1) 新年交礼会 1月22日</p>	<p>1月22日(金) 18時 ホテルニューオータニ麗の間 会費1万円</p> <p>140名超の参加で、キャンペーン「北方領土返還」「北海道新幹線早期実現」「ふるさと納税」をテーマに新年交礼会を開催した。(次第、写真及び会報記事参照)</p> 		
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: right;">We Love Hokkaido</p> <p style="text-align: center;">公益社団法人北海道倶楽部 平成28年新年交礼会</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <p>1. 開会の辞 北海道倶楽部副理事長 香西 慧</p> <p>2. ご挨拶～キャンペーンについて 北海道倶楽部会長 松田 昌士</p> <p>3. 来賓祝辞 国土交通省 大臣官房審議官 田村 秀夫 様 北海道 副知事 荒川 裕生 様</p> <p>4. 来賓ほかのご紹介 (敬称略)</p> <p>5. 乾杯 北海道倶楽部副会長 村上 隆男</p> <p>6. 懇談 積極的な交流 (名刺交換など) を願います。 6:30</p> <p>7. 閉会 (流れ解散) 8:00</p> </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <p>4. 来賓ほかのご紹介 (敬称略)</p> <p>政党・国会議員 (および事務所の代理の方)</p> <p>衆議院議員 今津 寛 衆議院議員 佐藤 英道 参議院議員 竹谷 とし子 参議院議員 伊達 史一 衆議院議員 松木 謙公 新党大地 代表 鈴木 宗男</p> <p>国土交通省 大臣官房審議官 田村 秀夫</p> <p>北海道 北海道副知事 荒川 裕生 北海道 東京事務所長 岡田 恭一 帯広市 東京事務所長 井上 猛 釧路市 東京事務所長 若生 貴仁 札幌市 東京事務所長 金谷 学 苫小牧市 東京事務所長 加賀谷 隆 室蘭市 東京事務所長 齋藤 和則</p> </td> </tr> </table> <p style="text-align: center; font-size: small;">平成28年1月22日(金) 午後6時～8時 会場 ホテルニューオータニ「麗の間」</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <p style="text-align: center;">We Love Hokkaido</p> <p style="text-align: center;">ふるさと納税・北方領土返還・新幹線早期実現 キャンペーン</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">     </div> <p style="font-size: x-small;">ご来場の方は「ブラウンリボンバッジ」「千島桜バッジ」「新幹線バッジ」の何れかを お付けください。お願い申し上げます。(受付で用意しております。4個1組千円) ※ お帰りに「ふるれん田舎餅」「ポージョーレー・ヌーボー」及び交流イベント未配布協賛品 (袋により 入っているものが異なります。)が入ったお土産袋をご用意しております。是非お持ち帰り下さい。 (数に限りがございますので、ご了承ください。)</p> </div> </div>	<p>1. 開会の辞 北海道倶楽部副理事長 香西 慧</p> <p>2. ご挨拶～キャンペーンについて 北海道倶楽部会長 松田 昌士</p> <p>3. 来賓祝辞 国土交通省 大臣官房審議官 田村 秀夫 様 北海道 副知事 荒川 裕生 様</p> <p>4. 来賓ほかのご紹介 (敬称略)</p> <p>5. 乾杯 北海道倶楽部副会長 村上 隆男</p> <p>6. 懇談 積極的な交流 (名刺交換など) を願います。 6:30</p> <p>7. 閉会 (流れ解散) 8:00</p>	<p>4. 来賓ほかのご紹介 (敬称略)</p> <p>政党・国会議員 (および事務所の代理の方)</p> <p>衆議院議員 今津 寛 衆議院議員 佐藤 英道 参議院議員 竹谷 とし子 参議院議員 伊達 史一 衆議院議員 松木 謙公 新党大地 代表 鈴木 宗男</p> <p>国土交通省 大臣官房審議官 田村 秀夫</p> <p>北海道 北海道副知事 荒川 裕生 北海道 東京事務所長 岡田 恭一 帯広市 東京事務所長 井上 猛 釧路市 東京事務所長 若生 貴仁 札幌市 東京事務所長 金谷 学 苫小牧市 東京事務所長 加賀谷 隆 室蘭市 東京事務所長 齋藤 和則</p>
<p>1. 開会の辞 北海道倶楽部副理事長 香西 慧</p> <p>2. ご挨拶～キャンペーンについて 北海道倶楽部会長 松田 昌士</p> <p>3. 来賓祝辞 国土交通省 大臣官房審議官 田村 秀夫 様 北海道 副知事 荒川 裕生 様</p> <p>4. 来賓ほかのご紹介 (敬称略)</p> <p>5. 乾杯 北海道倶楽部副会長 村上 隆男</p> <p>6. 懇談 積極的な交流 (名刺交換など) を願います。 6:30</p> <p>7. 閉会 (流れ解散) 8:00</p>	<p>4. 来賓ほかのご紹介 (敬称略)</p> <p>政党・国会議員 (および事務所の代理の方)</p> <p>衆議院議員 今津 寛 衆議院議員 佐藤 英道 参議院議員 竹谷 とし子 参議院議員 伊達 史一 衆議院議員 松木 謙公 新党大地 代表 鈴木 宗男</p> <p>国土交通省 大臣官房審議官 田村 秀夫</p> <p>北海道 北海道副知事 荒川 裕生 北海道 東京事務所長 岡田 恭一 帯広市 東京事務所長 井上 猛 釧路市 東京事務所長 若生 貴仁 札幌市 東京事務所長 金谷 学 苫小牧市 東京事務所長 加賀谷 隆 室蘭市 東京事務所長 齋藤 和則</p>		
<p>(2) 平成28年北方領土返還要求全国大会 参加 2月7日</p>	<p>当倶楽部も一員となっている大会実行委員会の主催により2月7日の北方領土の日に東京の日比谷公会堂で安倍総理を迎えて元島民代表や全国の返還要求運動団体代表者ら1700人が参加して平成28年北方領土返還要求全国大会が開催され、倶楽部からも岡村理事長以下5名の企画部会メンバーが参加した。</p>  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <p style="text-align: center;">平成28年北方領土返還要求全国大会</p> <p style="text-align: center;">とき 平成28年2月7日 ところ 日比谷公会堂ホール</p>  <p style="text-align: center; font-size: x-small;">主催 / 北方領土返還要求全国大会実行委員会</p> </div>		
<p>(3) 交流の夕べ 8月4日</p>	<p>北海道倶楽部主催の「第20回交流の夕べ」が8月4日夜、東京・銀座で開かれた。(次第、写真参照)</p> <p>交流の夕べは財政再生中の夕張市支援も目的。倶楽部会員、会員以外を合わせ約130人が参加。今回は高橋はるみ北海道知事、鈴木直道夕張市長も出席した。また主催者あいさつでは、岡村理事長が倶楽部の進めるキャンペ</p>		

種 別	概 要																						
	<p>ーンの現状などを話し、「東京で北海道を応援する輪を広げたい」と挨拶した。</p> <p>①北海道新幹線早期実現推進「新幹線早期実現」バッジ ②北方領土返還運動推進「ブラウンリボン」「千島桜」バッジ ③夕張支援などへの地域貢献</p> <p>続いて、国土交通省の田村北海道局長、高橋はるみ北海道知事が祝辞を述べた。懇親会では参加者らが交流。また、「8月4日ビヤホールの日」恒例のサンバチームのダンサーらが会場に姿を見せ、テーブルには夕張メロンも。鈴木夕張市長は「市の破綻から10年が経過しました。夕張市のまちづくりへの支援をお願いしたい」と挨拶した。</p> <div data-bbox="248 797 890 1227" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="932 465 1461 533" data-label="Section-Header"> <p>第20回公益社団法人北海道倶楽部交流の夕べ 平成28年8月4日(木) 銀座クラシックホール</p> </div> <div data-bbox="932 555 1461 954" data-label="Table"> <table border="1"> <tr> <td colspan="2">次 第 (開始18時00分)</td> </tr> <tr> <td>1. 開会(司会)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2. 主催者挨拶</td> <td>松田 昌士(会長) 岡村 進(理事長)</td> </tr> <tr> <td>3. 祝辞</td> <td>田村 秀夫 様(国土交通省 北海道局長) 高橋 はるみ 様(北海道知事)</td> </tr> <tr> <td>4. 夕張からのお願い</td> <td>鈴木 直道 様(夕張市長)</td> </tr> <tr> <td>5. ご来賓、国会議員ほかご紹介 新入会員ご紹介</td> <td>(名簿〇印記載の通り) (敬省略) 昨年来の「新入正会員」および「新入維持会員所属の登録会員」のいずれも出席者(名簿※印記載の通り) 村上 隆男(副会長)</td> </tr> <tr> <td>6. 乾杯(18時30分)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>7. 懇談</td> <td></td> </tr> <tr> <td>8. アトラクション</td> <td>サンバ(ビヤホールの日恒例)</td> </tr> <tr> <td>9. 抽選会(19時30分)</td> <td>香西 慧(副理事長)</td> </tr> <tr> <td>10. 中締め(20時)</td> <td>鈴木 秀一(評議員会議長)</td> </tr> </table> </div> <div data-bbox="932 965 1461 1227" data-label="Complex-Block"> <p style="text-align: center;">夕張市に支援を!!</p> <p style="text-align: center;"><i>We Love Hokkaido</i> 北方領土返還・地域活性化 ふるさと納税・北海道新幹線早期実現 キャンペーン</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">     </div> </div>	次 第 (開始18時00分)		1. 開会(司会)		2. 主催者挨拶	松田 昌士(会長) 岡村 進(理事長)	3. 祝辞	田村 秀夫 様(国土交通省 北海道局長) 高橋 はるみ 様(北海道知事)	4. 夕張からのお願い	鈴木 直道 様(夕張市長)	5. ご来賓、国会議員ほかご紹介 新入会員ご紹介	(名簿〇印記載の通り) (敬省略) 昨年来の「新入正会員」および「新入維持会員所属の登録会員」のいずれも出席者(名簿※印記載の通り) 村上 隆男(副会長)	6. 乾杯(18時30分)		7. 懇談		8. アトラクション	サンバ(ビヤホールの日恒例)	9. 抽選会(19時30分)	香西 慧(副理事長)	10. 中締め(20時)	鈴木 秀一(評議員会議長)
次 第 (開始18時00分)																							
1. 開会(司会)																							
2. 主催者挨拶	松田 昌士(会長) 岡村 進(理事長)																						
3. 祝辞	田村 秀夫 様(国土交通省 北海道局長) 高橋 はるみ 様(北海道知事)																						
4. 夕張からのお願い	鈴木 直道 様(夕張市長)																						
5. ご来賓、国会議員ほかご紹介 新入会員ご紹介	(名簿〇印記載の通り) (敬省略) 昨年来の「新入正会員」および「新入維持会員所属の登録会員」のいずれも出席者(名簿※印記載の通り) 村上 隆男(副会長)																						
6. 乾杯(18時30分)																							
7. 懇談																							
8. アトラクション	サンバ(ビヤホールの日恒例)																						
9. 抽選会(19時30分)	香西 慧(副理事長)																						
10. 中締め(20時)	鈴木 秀一(評議員会議長)																						
<p>(4) 平成28年度ふるさと北海道応援フォーラム(第3回)</p> <p style="text-align: right;">協賛 8月5日</p>	<p>道などが主催する「平成28年度ふるさと北海道応援フォーラム」(第3回、倶楽部協賛)が8月5日、東京・飯田橋の「ホテルメトロポリタンエドモント」で開かれた。</p> <p>第1部のセミナーでは「北海道大樹町でのロケット開発について」や「TPPにおける山忠の経営戦略」などについて企業経営者らの講演が行われた。辻副知事も「北海道の現状と新しいビジネスフィールドの可能性」について講演した。第2部の交流会では高橋知事の要請により、松田会長が出席し、知事に代わり挨拶を行った。三回目の今回は前回よりさらに盛り上がった。</p> <div data-bbox="459 1370 938 2042" data-label="Complex-Block"> </div>																						

種 別	概 要
<p>(5) 北方領土ノサップ岬マラソン</p> <p>協力 8月21日</p>	<p>倶楽部が協力している北方領土の早期返還を願う、「第35回北方領土ノサップ岬マラソン」が8月21日、根室市内で開かれた。当日は台風の影響で悪天候の中、大会に招待された埼玉県の公務員ランナー、川内優輝選手ら道内外からの490人余が参加、ハーフや10^{キロ}など3種目で日ごろの健脚を競った。</p> <p>大会は根室市など実行委が主催、北海道倶楽部は2010年から大会に賞品の提供やプログラム広告など「協力」しており、今回は倶楽部賞とブラウンリボンバッジと千島桜バッジセットを提供した。開会式に今年は、評議員の濱屋喜芳さん(根室市出身)が出席した。</p> <p>ノサップ岬四島のかげ橋広場で行われた開会式の後、ハーフ、10^{キロ}、3.7^{キロ}の3種目に分かれ、ゴールの根室市役所を目指した。表彰式の後には川内選手のトークイベントも開かれた。</p> <div data-bbox="991 152 1465 817" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="991 840 1465 1153" data-label="Image"> </div>
<p>(6) 北海道フェアに出展</p> <p>9月29日～ 10月2日</p>	<p>道内の「秋の味覚」を満載した「第28回北海道フェア in 代々木」(実行委主催、北海道倶楽部など後援)が、9月29日から10月2日まで東京・渋谷区の代々木公園で開かれた。今年から1日多い4日間の開催となり、人出は40万1000人に。首都圏各地から訪れた人たちは、北海道の海や山の幸に舌鼓を打った。倶楽部はキャンペーンなど取り組む活動をPRするため、「北海道NOW」別冊を11万部作成し新聞に折込みし、倶楽部のキャンペーンや北海道の自治体を紹介した。また今年「北海道の市と町をご紹介」(下参照)を2万部作成し、ポスティングした(昨年の剰余金を充当)。</p> <p>当日の入場者に向けて倶楽部のブースを設け、北方領土返還キャンペーン、北海道新幹線キャンペーンなどを行った。</p> <p>倶楽部のブースでは、キャンペーンバッジやCDの販売、さらに「はぼまい昆布しょうゆ」、「こんぶしお」の無料配布(合計300個)を行い、盛り</p> <div data-bbox="815 1608 1137 2056" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="1145 1619 1465 2033" data-label="Image"> </div>

種 別	概 要
	<p>上げた。</p> <p>今年も北海道北方領土対策本部が倶楽部のブース前に署名コーナーを設け、内閣府北方対策本部から応援が来て、着ぐるみ「エリカちゃん」も登場した。同本部のHPでも紹介された。</p> <p>北方領土問題を多くの入場者にアピールし、多数の署名(合計1,765筆)が寄せられた。</p> 
<p>(7) 第 53 回交流イベント</p> <p>10月25日 (旧道産子の会)</p>	<p>北海道倶楽部が取り組む「北方領土返還促進」などキャンペーンの推進を目的とした、「第53回交流イベント」が10月25日夜、会員、会員以外も含み約300人(実質)が参加して東京・港区の明治記念館で開かれた。</p> <p>イベントには今年も昨年と同じく北方領土隣接地域から、道根室振興局がコーナーを設置。「根室管内活性化のため、ぜひ北海道倶楽部の協力を」と呼びかけた。</p> <p>イベントは午後6時から始まり、岡村進理事長は「北海道新幹線は札幌まで行かないと、波及効果は出ない。札幌延伸の早期実現を」などと呼びかけた。その後、国土交通省、道など関係者が祝辞。同省の桜田昌之大臣官房審議官は「8月の台風直撃で北海道は河川、道路、農業などに甚大な被害を受けた。国交省は復旧に最大限の努力をする」と述べた。</p> <p>道の辻泰弘副知事は「日頃の北海道倶楽部の道への協力に感謝したい。北海道新幹線の開業で、函館などは観光客が増え、新幹線効果がでていいる。北方領土問題は12月、山口県での安倍、プーチン会談に期待している」と話した。</p>  <div data-bbox="651 1120 1497 1662" data-label="Complex-Block"> <p style="text-align: right;">北海道キャンペン 北方領土返還・地域活性化ふもと納税・新幹線早期実現</p> <p style="text-align: center;">We Love Hokkaido HOKKAIDO CLUB SINCE 1971</p> <p style="text-align: center;">第53回交流イベント次第</p> <p style="text-align: center;">平成28年10月25日 18時17分～18時53分 受付開始 18時00分 開演 (歌うハイオリスト・浦野直也)</p> <p style="text-align: center;">担当副理事長 菅野 暁 司会 下角 陽子</p> <p>一、開会の辞(倶楽部のキャンペーン推進について、副会長紹介) 倶楽部理事長 岡村 進 新任副会長紹介 倶楽部副会長 川村 隆</p> <p>二、国土交通省ご挨拶 大臣官房審議官 桜田 昌之様</p> <p>三、北海道ご挨拶 副知事 辻 泰弘様</p> <p>四、政党、国会議員、国土交通省、北海道、市町村、宮崎県関係者ほかご紹介 「千島桜ねむるプロジェクト」お願い 北海道根室振興局企画振興係長 岸 鉄也様</p> <p>六、倶楽部会長挨拶 松田 昌士様</p> <p>七、乾杯 倶楽部副会長 村上 隆男様</p> <p>八、懇親(18時30分) (歌手 水谷月 順子)</p> <p>九、福引抽選 倶楽部副理事長 香西 慧</p> <p>散会(20時)</p> </div>

種 別	概 要
	<p>続いて、懇親会に。舞台では北方領土を歌った「ちぎれ千島に雲が飛ぶ」などバイオリンと歌が披露され福引抽選会や参加者には帯広農業高産のカボチャなどのお土産もありイベントを盛り上げた。御協賛社は71社に上った。</p>
<p>(8) 北方領土返還要求中央アピール行進 参加 12月1日</p>	<p>根室管内5市町でつくる「北方領土隣接地域振興対策根室管内市町連絡協議会」（北隣協）の主催。1945年に当時の根室町長が領土返還を陳情したことにちなんだ「返還要求運動原点の日」の12月1日に、毎年開催しており今回で11回目となった。全国各地から105団体、総勢約500名が参加した。高橋はるみ知事も4年ぶりに参加。日比谷野外音楽堂で行われた出発式で、スタートし、内幸町、銀座、京橋など2.2キロをデモ行進。倶楽部からも岡村進理事長、間瀬雅晴評議員副議長、本間修事務局長、富樫泰介倶楽部会員ら4人が参加し、領土返還をアピールした。(写真参照)</p> 
<p>2. キャンペーン (1) ふるさと納税・地域振興等キャンペーン</p> 	<p>1) 北海道 "NOW" (情報紙・会報) に自治体紹介 平成27年8月から掲載してきた北海道根室振興局管内の北方領土隣接地域市町の紹介は1月号で終了し、3月号から北海道と協議し増ページのうえ1号あたり2自治体の紹介を掲載した。北海道新幹線の開業にあわせ、渡島管内市町村から始め、檜山管内、後志管内を順次掲載。</p> <p>2) 夕張市振興へ協力 8月の交流イベントで夕張振興を訴え、メロンの販売や夕張へのふるさと納税をお願いした。</p> <p>3) 根室振興局管内（北方領土隣接地域）の振興に協力 10月の交流イベントに根室市、別海町、標津町、中標津町、羅臼町を抱える北海道根室振興局がブースを設置、管内企業提供商品の試食会や、手土産に地元の特産品を協賛するなど根室地域の振興の活動を行った。(写真参照)</p>
<p>(2) 北方領土返還推進 「ブラウンリボンバッジ」 「千島桜バッジ」キャンペーン</p>	<p>1) ブラウンリボンバッジについて 北方領土問題の早期解決実現のためには、政府の外交交渉と並行して、それをしっかり後押しする関係者の熱意と実行力が不可欠で、返還運動に関心を持つ方々の応援団を増やすためには、底辺を拡大してその輪をさらに広げることが必要である。そのために、「日常会話に登場する返還運動」へと転換する必要があり、それを可能にするために、話題のきっかけとなる「きっかけグッズ」の頒布活動をキャンペーン事業として推進するものである。</p> <p>ブラウンリボンバッジ配布数等は下記の通りである。(配布開始2010年1月) 本年度は、プーチンロシア大統領の訪日もあり配布個数が増えた。 配布バッジ数累計 39,038個(無料分を含む)(うち本年度配布11,931個) 収入総額6,384,213円(発注バッジ総数38,577個、発注総額3,855,941円)</p>

種 別	概 要
	<p>2) 千島桜バッジについて 「シンボルの花」</p> <p>北方領土返還要求運動の新たな展開を図るため、返還要求運動の統一的なシンボルとして、誰もが親しみやすく身近に感じる「花」を選び、北方領土啓発資材等に「花」をモチーフにしたイラストを使用して、北方領土問題の一層の啓発を図るとともに世論の結集に務めることを目的に広く道内から公募された。倶楽部は道からの呼びかけにより 2013 年 9 月 5 日より千島桜バッジの頒布を開始した。</p> <p>千島桜バッジ配布数等は下記の通りである。(配布開始 2013 年 9 月)</p> <p>配布バッジ数累計 1971 個 (無料分を含む) (うち本年度配布 708 個)</p> <p>収入総額 375,670 円 (発注バッジ総数 4000 個、発注総額 304,426 円)</p> <p>3) 「ちぎれ千島に雲が飛ぶ」の CD 配布</p> <p>北方 4 島の思いを、故森繁久彌さんが作詞し歌った上記 CD を、北方領土返還運動に役立ててくださいという、次男の建さんのご厚意で有料配布している。(送料込み千円) 累計 476 枚、本年度 0 枚 (無料分を含む)</p> <p>累計収入金額 380,600 円 本年度収入金額 0 円</p>
(3) 北海道新幹線早期実現「新幹線バッジ」キャンペーン	<p>1) 北海道新幹線早期実現推進の意識を高めるための早期実現「新幹線」バッジを実費で頒布した。</p> <p>2) 趣旨：北海道新幹線をより早期に実現するためには、「日常会話に登場する北海道新幹線早期実現推進運動」をする必要があり、それを可能にするために、話題のきっかけとなる「きっかけグッズ」の頒布活動を事業として推進するものである。</p> <p>3) 早期実現「新幹線」バッジ：</p> <p>絵柄で北海道と新幹線を、文字で北海道と新幹線への想いを表現した。25mm サイズのピンバッジである。色は北海道新幹線のイメージ緑と、情熱・熱意を表す赤を配色した。北海道新幹線早期実現のため、話題の「きっかけ」グッズとなれば幸いである。交流事業、メディア事業などを活用し全国に配布した。バッジ配布数等は下記の通りである。(配布開始 2010 年 8 月)</p> <p>配布バッジ数累計 3,261 個 (無料分を含む) (うち本年度配布 37 個)</p> <p>収入総額 536,408 円 (発注バッジ総数 6,000 個、金額 675,675 円)</p> <p>(北海道新幹線 (新青森―新函館北斗間は、平成 28 年 3 月 26 日に開業。札幌延伸は平成 24 年 6 月工事实施計画が認可され、2030 年度末開業予定。</p>
<p>3. キャンペーン推進のための調査研究事業 (ビザ無し交流・特別講演会)</p> <p>(1) ビザ無し交流 国後・択捉島</p>	<p>倶楽部の松本淳一郎評議員が、9 月 15 日から 19 日にかけて「ビザなし交流」に参加、北方領土の国後、択捉両島を訪問した。現地ではロシア人島民の心温まる歓迎を受け、サケのふ化場や空港など施設を見学。日本人墓地の清掃作業にも携わった。4 泊 5 日の北方領土を体験し、HP に写真を掲載し広報した。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: right;">(写真参照)</p>

種 別	概 要
(2) 特別講演会	北海道倶楽部主催の講演会が8月23日、東京・永田町の全国町村会館で開かれ、JR東日本の江藤尚志・取締役東京駅長（倶楽部会員）が、「東京駅百年と北海道新幹線」と題して講演した。江藤駅長は倶楽部の会員、非会員、約50人の参加者を前に、新幹線の旅の楽しさをアピールし、北海道新幹線の札幌延伸について述べたり、首都圏の鉄道、東京駅の生い立ちを説明した。
4. キャンペーン推進のためのメディア事業	本年度もメディア事業は、北海道情報の北海道外への広報活動を志向した。第699号から第709号まで発行（毎月1日、ただし2月1日号は休刊）会員以外への会報の配布も積極的におこなった。（ふるさと会、北海道情報ラックなど）自治体紹介ページは3月号から増ページし、1号あたり2自治体の紹介を掲載した。
(1) 北海道情報紙「北海道"NOW"」の配布	
(2) 「北海道"NOW"」増刊（別冊）（カラー版）の配布	<p>広報紙「北海道"NOW"」（別冊）の発行配布は公益事業として、会員外の読者層を狙った記事を集め、配布対象を広げ配布することを目指すものである。別冊8号目（第707号別冊10月1日）の発行北海道情報（キャンペーン等）の発信と北海道フェアの告知を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・11万部印刷し、代々木沿線に新聞（全国紙3紙）の折り込み配布をした。 ・北海道フェア in 代々木会場内北海道倶楽部のブースで配布した。 ・北海道ふるさと会連合会の各会にても配布 ・北方領土隣接地域の特集記事掲載協力を受けた北海道根室振興局に送り配布した。 <p>市町村紹介冊子の発行（根室振興局・渡島振興局の管内市町の紹介）と配布をした。内容は各自治体の方の執筆なので、実態をよくわかると評判であった。</p>
(3) 北海道情報ラック設置	<p>23カ所（レストラン、店舗等）設置 北海道関連のパンフレット 北海道情報紙「北海道"NOW"」などを毎月送付</p>
(4) 倶楽部ホームページ改訂	HPを改訂し、倶楽部のキャンペーンなどをわかりやすく掲載した。平成29年度も引き続き、改訂作業を続ける。
5. 賛同・後援名義の付与	<ol style="list-style-type: none"> 1) NPO法人北海道科学活動ネットワーク 「2016年青少年のための科学の祭典－北海道内の大会」 2) 「大河ドラマ『北で燃えたサムライ村橋久成』を誘致する会」への賛同名義 3) ふるさと会連合会「第22回産直フェア」（北海道フェア） 4) 平成28年度「ふるさと北海道応援フォーラム」 5) 「なまらいいっしょ北海道フェア」 <p style="text-align: right;">以上</p>

平成28年度 会員異動状況

(平成28年12月末現在)

	単位	平成 27 年度 末	内 容			平成 28 年度 末
			増	減	差引	
維持 会 員	社数 (社)	140	2	11	△ 9	131
	口数 (口)	215	3	12	△ 9	206
	登録 会 員 数 (名)	271	48	59	△ 11	260
正会員数 (名)		184	8	16	△ 8	176
個人会員数 合計 (名)		455	56	75	△ 19	436

損益計算書（正味財産増減計算書）

損益計算書（正味財産増減計算書）				平成28／27年度増減		
区分経理内訳		平成28年度決算				
平成28年1月1日～平成28年12月31日		公益事業会計	法人会計	合計		
①会費収入は法人会計に50%振り分けた。(会費規程第6条) ②給料手当、法定福利費、退職給付繰入額は従事割合(40%)により、法人会計に振り分けた。個別部門の給料手当は各個別部門で負担した。 ③通信費の内、電話及びインターネット費用は使用割合(40%)により、法人会計に振り分けた。他は各個別部門で負担した。 ④賃借料は使用割合(40%)により、法人会計に振り分けた。		[K]公益事業総合(合計)	[T]公益・法人総計(共通)	[T]公益・法人総計(合計)	前年度決算 平成27年 12月31日	増減 (平成28年 －平成27 年)
I 一般正味財産増減の部						
1. 経常増減の部						
(1) 経常収益 [収入]						
経常収益 (収入)	受取会費 (入会金)	15,000	15,000	30,000	① 35,000	△ 5,000
	(正会員会費収入)	1,237,500	1,237,500	2,475,000	① 2,880,000	△ 405,000
	(維持会員会費収入)	3,000,000	3,000,000	6,000,000	① 6,240,000	△ 240,000
	事業収入 (広告収入)	3,248,104	0	3,248,104	1,991,164	1,256,940
	(交流、キャンペーン等収入)	6,243,203	0	6,243,203	5,202,734	1,040,469
	受取寄付金 (寄付・協賛金)	3,158,000	3,000	3,161,000	2,670,000	491,000
	受取利息	0	786	786	325	461
	雑収入	1,598	38,342	39,940	31,701	8,239
	経常収入計 (収入高合計)	16,903,405	4,294,628	21,198,033	19,050,924	2,147,109
	(2) 経常費用[事業費・管理費]		事業費	管理費		
経常費用 (事業費・管理費)	給料手当	3,963,322	2,528,882	6,492,204	② 6,409,508	82,696
	法定福利費	284,468	189,645	474,113	② 416,174	57,939
	退職給付繰入額	45,000	30,000	75,000	② 75,000	0
	外注費	4,683,614	0	4,683,614	2,627,037	2,056,577
	荷造運賃	163,897	1,800	165,697	134,732	30,965
	広告宣伝費	1,471,278	0	1,471,278	1,874,992	△ 403,714
	会議費	29,450	63,022	92,472	56,880	35,592
	旅費交通費	67,240	6,690	73,930	62,150	11,780
	通信費	1,036,335	298,197	1,334,532	③ 1,203,260	131,272
	会合費	5,356,824	0	5,356,824	5,162,658	194,166
	消耗品費	524,253	325,520	849,773	491,653	358,120
	事務用品費				19,491	△ 19,491
	新聞図書費	105,888	0	105,888	96,888	9,000
	諸会費	5,000	0	5,000	5,000	0
	賃借料	104,029	69,352	173,381	④ 166,955	6,426
	租税公課	8,000	12,900	20,900	8,400	12,500
	雑費	286,049	118,648	404,697	407,726	△ 3,029
経常費用計 (事業費・管理費計)	18,134,647	3,644,656	21,779,303	19,218,504	2,560,799	
当期経常増減額 (事業損益金額)		△ 1,231,242	649,972	△ 581,270	△ 167,580	△ 413,690
当期一般正味財産増減額 (当期純損益金額)		△ 1,231,242	649,972	△ 581,270	△ 167,580	△ 413,690
一般正味財産期首残高				6,701,704	6,869,284	△ 167,580
一般正味財産期末残高				6,120,434	6,701,704	△ 581,270
III 正味財産期末残高				6,120,434	6,701,704	△ 581,270

※注記に記載した、若しくは明細項目(引当金等明細)がないため、附属明細書を作成しない。

貸借対照表

貸借対照表
(平成28年12月31日) (単位円)

科 目	当年度	前年度	増減	
I 資産の部				
1. 流動資産				
現金・預金	5,980,094	6,668,795	△ 688,701	
貯蔵品	277,742	140,696	137,046	バッジ対価の使用待ち切手等
キャンペーン品	822,323	623,370	198,953	キャンペーン用バッジ等の在庫を計上
未収入金	77,544	248,000	△ 170,456	
仮払金	19,218	32,759	△ 13,541	新年交礼会用はがき
流動資産合計	7,176,921	7,713,620	△ 536,699	
2. 固定資産				
什器備品	3,000	3,000	0	
電話加入権	1	1	0	備忘価額
固定資産合計	3,001	3,001	0	
資産合計	7,179,922	7,716,621	△ 536,699	
II 負債の部				
1. 流動負債				
未払金	45,568	46,160	△ 592	後納郵便代
仮受金	277,920	307,757	△ 29,837	源泉所得税預かりほか
流動負債合計	323,488	353,917	△ 30,429	
2. 固定負債				
退職給与引当金	736,000	661,000	75,000	従業員退職引当(1人分)
固定負債合計	736,000	661,000	75,000	
負債合計	1,059,488	1,014,917	44,571	
III 正味財産の部				
一般正味財産 (正味財産期末残高)	6,120,434	6,701,704	△ 581,270	
正味財産合計	6,120,434	6,701,704	△ 581,270	
負債および正味財産合計	7,179,922	7,716,621	△ 536,699	

※注記に記載した、若しくは明細項目(引当金等明細)がないため、附属明細書を作成しない。

財産目録

財産目録

(平成28年12月31日現在)

(単位円)

科目	場所・物量等	使用目的等	当年度	前年度	増減	
(流動資産)						
現金・預金		運転資金として	5,980,094	6,668,795	△ 688,701	
現金	現金手元有高		0	0	0	
預金	普通預金 みずほ銀行町村会館出張所1		3,926,748	1,595,622	2,331,126	口座番号1784368
預金	普通預金 みずほ銀行町村会館出張所2		0	0	0	口座番号2560218
預金	普通預金 北洋銀行東京支店		229,454	3,573,100	△ 3,343,646	口座番号0123000
預金	普通預金 北海道銀行東京支店		450,886	451,137	△ 251	口座番号0546136
預金	定期預金 北洋銀行東京支店		200,000	200,000	0	口座番号0008884
預金	定期預金 北海道銀行東京支店		100,000	100,000	0	口座番号0017317
貯金	郵便振替預金		1,073,006	748,936	324,070	口座番号00170-0-44997
貯蔵品計		在庫として	277,742	140,696	137,046	
切手	事務所保管		144,051	82,010	62,041	バッジ対価の使用待ち切手
はがき 返信先印刷済	事務所保管		111,609	38,520	73,089	返信用はがき
はがき	事務所保管		15,962	12,426	3,536	
レターパック	事務所保管		6,120	3,540	2,580	バッジ等送付用
収入印紙	事務所保管		0	4,200	△ 4,200	
キャンペーン品計		在庫として	822,323	623,370	198,953	キャンペーン用バッジ等の在庫
ブラウシリボンバッジ	事務所保管		249,178	162,214	86,964	
千島桜バッジ	事務所保管		164,965	49,236	115,729	
CD	事務所保管		88,740	88,740	0	
新幹線バッジ	事務所保管		319,440	323,180	△ 3,740	
未収入金		会員会費収入ほか	77,544	248,000	△ 170,456	会員会費収入ほか
仮払金			19,218	32,759	△ 13,541	新年交礼会案内ハガキほか
流動資産合計			7,176,921	7,713,620	△ 536,699	
(固定資産)						
什器備品計			3,000	3,000	0	
絵画 西村計雄 「ハイデルベルグ」	事務所保管		1,000	1,000	0	
絵画 西村典久子 「流水」	事務所保管		1,000	1,000	0	
絵画 岩船修三 「白鳥」	事務所保管		1,000	1,000	0	
電話加入権		備忘価額	1	1	0	備忘価額
固定資産合計			3,001	3,001	0	
資産合計			7,179,922	7,716,621	△ 536,699	
(流動負債)						
未払金			45,568	46,160	△ 592	後納郵便代ほか
仮受金計			277,920	307,757	△ 29,837	
年会費		先払い会費	30,000	60,000	△ 30,000	先払い会費
源泉所得税			239,910	236,440	3,470	源泉所得税
雇用保険ほか			8,010	11,317	△ 3,307	
流動負債合計			323,488	353,917	△ 30,429	
(固定負債)						
退職給与引当金		従業員退職引当	736,000	661,000	75,000	
固定負債合計			736,000	661,000	75,000	
負債合計			1,059,488	1,014,917	44,571	
正味財産合計			6,120,434	6,701,704	△ 581,270	
負債および正味財産合計			7,179,922	7,716,621	△ 536,699	

※注記に記載した、若しくは明細項目(引当金等明細)がないため、附属明細書を作成しない。

キャッシュフロー計算書

キャッシュフロー計算書(間接法)

平成28年1月1日～平成28年12月31日

加算減算項目	計算項目	同左 加算減算
当期純損益金額 (当期正味財産増減額)	△ 581,270	△ 581,270
貯蔵品(増減)	137,046	△ 137,046
キャンペーン品(増減)	198,953	△ 198,953
未収入金(増減)	△ 170,456	170,456
仮払金 (増減)	△ 13,541	13,541
固定資産 (増減)	0	0
未払金 (増減)	△ 592	△ 592
仮受金 (増減)	△ 29,837	△ 29,837
退職給与引当金(増減)	75,000	75,000
	キャッシュフロー	△ 688,701

科 目	当年度	前年度
現金・預金	5,980,094	6,668,795

増減	△ 688,701
----	-----------

計算書類に対する注記

計算書類に対する注記

1 重要な会計方針ほか

(1) 公益事業会計と法人会計（管理費用）に区分し損益計算書（正味財産増減計算書）を作成した。

(2) 会費収入は、公益法人会計に配賦した。ただし、その50%を法人会計に配賦した。

公益社団法人北海道倶楽部会費規程
（会費の用途）

第6条 原則として、入会金及び年会費は公益目的事業に係る収益とするが、入会金及び年会費の総額の50%を限度に管理業務に必要な費用の額として管理業務に係る収益に充当する事が出来る。

(3) 寄附金は公益法人会計に配賦した。

(4) 下記共通費用は公益事業会計と法人会計（管理費用）に区分し配賦した。

科目	総額	公益事業会計 配賦額	法人会計 配賦額	配賦基準	公益事業会計 配賦割合
給料手当（職員給料手当）諸謝金等を除く）	6,322,204	3,793,322	2,528,882	従事割合	60%
給料手当（諸謝金等）	170,000	170,000	0	従事割合	100%
給料手当計	6,492,204	3,963,322	2,528,882		
退職給付繰入額	75,000	45,000	30,000	従事割合	60%
法定福利費	474,113	284,468	189,645	従事割合	60%
賃借料（事務所使用料）	173,381	104,029	69,352	使用割合	60%
通信費(電話、ネット費用のみ)	208,641	125,185	83,456	使用割合	60%
合計	7,423,339	4,522,004	2,901,335		

(5) 償却すべき固定資産はない。

(6) 退職給付繰入額（退職給与引当金）は期末要支給額の100%を計上している。

(7) 資金の範囲は原則流動資産と流動負債とする。なお、前期末および当期末残高は、下記2.に記載するとおりである。

2 流動資産・流動負債と差額

科目	前期末残高	期中増減	当期末残高
現金・預金	6,668,795	△ 688,701	5,980,094
その他流動資産	1,044,825	152,002	1,196,827
流動資産合計	7,713,620	△ 536,699	7,176,921
その他流動負債	353,917	△ 30,429	323,488
流動負債合計	353,917	△ 30,429	323,488
差額	7,359,703	△ 506,270	6,853,433

参考(固定資産・固定負債)

固定資産	3,001	0	3,001
固定負債	661,000	75,000	736,000
差額	-657,999	-75,000	-732,999
正味財産合計	6,701,704	-581,270	6,120,434

監査報告書

公益社団法人北海道倶楽部の平成28年度の事業、会計報告につき、諸資料、帳票、帳簿を詳細に調査いたしましたところ適法かつ適正であることを認めます。

平成29年2月16日

公益社団法人北海道倶楽部

監事 五十嵐 紀男 ⑩

監事 亀岡 義一 ⑩

平成28年度事業、会計報告につき、以上のとおり報告致します。

平成29年3月3日

公益社団法人 北海道倶楽部

理事長 岡村 進 ⑩

平成 29 年度事業計画書

平成 29 年度事業計画書

平成 29 年 1 月 1 日から平成 29 年 12 月 31 日まで

種 別	概 要
平成 29 年度事業計画 1. 基本方針	公益社団法人 4 年目に入り、公益事業推進を着実にいき、公益社団法人としての体制確立を進める。
2. 管理分野の計画	<ul style="list-style-type: none"> ・公益社団法人の体制整備を行う。 ・会費収入の確保や寄付による公益事業の財源確保と収支健全化を目指す。 ・引き続き、公益事業のため、会員増に取り組むと共に、組織・制度の検討を続ける。 ・当法人の諸活動に関し、定款、基本方針、コンプライアンス等の見地から随時検討、調整に務める。 ・評議員会、部会の活性化とともに会員参加型事業推進の定着に務める。 ・北海道等の行政組織やボランティア、企業メセナなどとのタイアップによる公益事業活動の充実をはかる。
3. 公益事業の計画	<ul style="list-style-type: none"> ○昨年度の公益事業実施の成果と反省を今年度事業推進に活かす。 ○「企業とのタイアップによる公益事業の推進体制」を研究する。 ○下記分野ごとに部会で随時具体的に公益事業を企画し推進する。
広報活動	<p>(1) 北海道等のための広報活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北海道情報紙「北海道 NOW」(本紙・増刊号 年 12 回)を発行する。 ・道内各自治体の紹介ページ(ふるさと納税なども紹介)を継続するとともに、増ページやさらなる拡充を企画する。 ・紹介ページを別冊にした「北海道の市町村をご紹介」を本年も刊行するべく努力する。(財源確保が必要だが、予算書には入れず、HP での刊行も考える。) ・「北海道 NOW」の新聞折り込み配布やポスティングによる配布を行う。 ・北海道情報ラックの設置とコンテンツの配布を行う。 ・倶楽部の各種イベントでの北海道等のための広報活動を行う。
地域活性化事業支援	<p>(2) 北海道等が主催・共催・後援する地域活性化事業の支援活動を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北方領土隣接地域振興対策根室地域協議会(北海道と根室地域 1 市 4 町で構成)など、北海道等から依頼されている地域視察、地域振興等に協力する。
北方領土返還運動	<p>(3) 北方領土返還運動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北方領土返還要求運動「ブラウンリボンバッジ」の頒布を行う。 ・北方領土返還要求運動のシンボル「千島桜バッジ」の頒布を行う。 ・北方領土返還森繁久弥作詞・唄「ちぎれ千島に雲が飛ぶ」CD の頒布を行う。 ・北方領土返還の広報活動を情報紙「北海道 NOW」や各種イベントで実施する。 ・内閣府(含む倶楽部)などが実行委員会を構成している「北方領土返還要求全国大会」(2 月 7 日、北方領土の日、例年総理大臣が出席)に参加する。 ・根室市の主催する「北方領土ノサップ岬マラソン大会」(8 月開催。30 回を越える)開催に協力する。 ・根室市等が主催し全国 70 団体余が参加する「北方領土返還要求中央アピー

種 別	概 要
	<p>ル行進」(12月1日、銀座行進)に参加する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北海道情報紙「北海道 NOW」(本紙・増刊号 年12回)、同紙の新聞折り込み配布、北海道情報ラックの設置とコンテンツの配布、北海道フェア、交流イベントなど各種イベントや講演会などを通じて北方領土返還運動キャンペーンの広報活動や北方領土返還要求署名活動を行う。
<p>ふるさと納税</p>	<p>(4) 北海道等へのふるさと納税等寄付の推進運動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本年度も広報活動・情報発信に活動の主体をおく。北海道情報紙「北海道 NOW」での道内自治体のふるさと納税の紹介、同紙の新聞折り込み配布、北海道情報ラックの設置とコンテンツの配布、北海道フェア、交流イベントなど各種イベント他で北海道等へのふるさと納税等寄付の推進キャンペーン活動を行う。
<p>新幹線早期実現</p>	<p>(5) 北海道新幹線早期実現運動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北海道新幹線早期実現運動「新幹線バッジ」の頒布を行う。 ・北海道情報紙「北海道 NOW」発行、同紙の新聞折り込み配布、北海道情報ラックの設置とコンテンツの配布、北海道フェア、交流イベントなど各種イベントで北海道新幹線早期実現運動のキャンペーン・広報活動を行う。
<p>北海道情報紙 講演会の開催 イベントの開催・参加</p>	<p>(6) 上記各号を達成するための北海道情報紙などの発行、講演会の開催及びイベントの開催・参加。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北海道情報紙「北海道 NOW」(本紙・増刊号 年12回)を発行する。 ・北海道情報ラックの設置とコンテンツの配布を行う。 ・キャンペーン(北方領土返還・ふるさと納税・新幹線早期実現)をテーマに「新年交礼会」を開催する。(150人規模) ・キャンペーンをテーマに夏に「交流の夕べ」を開催する。(100人規模) ・キャンペーンをテーマに秋に「交流イベント」を開催する。(300人規模) ・代々木の北海道フェアに参加し、キャンペーンのブースを出展し、北方領土返還要求署名活動をする。 ・「北方領土返還要求全国大会」(2月7日、北方領土の日)に参加する。 ・「北方領土ノサップ岬マラソン大会」(8月開催)開催に協力する。 ・「北方領土返還要求中央アピール行進」(12月1日)に参加する。 ・北海道が主催する「ふるさと北海道応援フォーラム」を後援し、協力する。
<p>北海道 150 年事業への協力</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「北海道」と命名されてから150年目となる2018年(平成30年)を節目と捉え行う、北海道150年事業に協力する。
<p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・観光・食・環境問題・その他について、当倶楽部として今後実施すべき事業を検討する。

種 別	概 要	予定時期
別表 公益事業計画 時期別一覧表 イベント・交流会等は HPなどで会員外、一 般へ参加案内する 部会対応 キャンペーン等の内容 詳細は担当の部会で今 後検討し実施する。	新年交礼会開催 北方領土返還推進運動「ブラウンリボンバッジ」「千島桜バッジ」キャンペーン 北海道新幹線早期実現「新幹線バッジ」キャンペーン 「ふるさと納税推進」キャンペーン 上記キャンペーンの年初スタートを実施。	1月27日
	「北方領土返還要求全国大会」に参加（北方領土の日） 「北方領土返還要求中央アピール行進」に参加	2月7日 12月1日
	交流の夕べを開催 キャンペーン、北海道等の広報を目的とした夏の交流事業を実施。	8月4日
	北海道での交流 北方領土隣接地域（根室など1市4町）視察・交流、一般参加可（費用自己負担） 「北方領土ノサップ岬マラソン大会」開催協力	8月 未定
	代々木北海道フェアへ出展 代々木公園のイベントスペースに出展 キャンペーン・情報展示のためイベントに参加、情報展示イベントを実施。 情報紙「北海道"NOW"」別冊11万部発行、代々木中心に全国紙折込 （当倶楽部の公益事業、道内情報を広報することを主旨とするキャンペーンなど。北方領土返還要求署名活動など。）	10月 （9/28～10/2） 予定
	交流イベント「We Love Hokkaido」の開催 （旧道産子の会） 会員、北海道関係者、北海道ファン、一般参加者300名、有料1万円 キャンペーン、公益事業の広報などを実施。	10月26日 予定
	講演会、シンポジウムの開催 当倶楽部の公益事業と関連した講演テーマを検討する。一般も参加出来、無料 （講演テーマ、行政との協調などにより公共性のあるものとし、一般参加を呼びかける。）	未定（講師、 会場等のスケ ジュールによ る）
	情報紙「北海道"NOW"」の発行・配布 倶楽部の事業に係る広報のため、情報紙「北海道"NOW"」本紙・別冊（年 12回）を発行する。前年配布の成果を踏まえ、配布先・配布方法、編集内容、 発行体制を整備。一般配布（有料 月額80円）有り。 「北海道の市町村をご紹介します」を本年も刊行するべく努力する。	毎月
	北海道情報ラックに北海道情報を配布 引き続き北海道関連情報を設置先情報ラックに配布する。（無料配布）	毎月
	ホームページでの広報 倶楽部の対外的広報のため、年初にかけ大規模刷新を予定	1月
倶楽部内交流の同好会の活動に協力。（独立運営・独立会計、北星会（ゴルフ）、囲碁会）	随時	

平成29年度収支予算書

平成29年度収支予算書		平成29年度 収支予算書			
		公益事業会計	法人会計	合計	
<p>・会費収入は法人会計に50%振り分けた。(会費規程第6条)</p> <p>・給料手当、法定福利費、退職給付繰入額は従事割合(40%)により、法人会計に振り分けた。個別部門の給料手当は各個別部門で負担した。</p> <p>・通信費の内、電話及びインターネット費用は使用割合(40%)により、法人会計に振り分けた。他は各個別部門で負担した。</p>		[K]公益事業総合(合計)	[T]公益・法人総計(共通)	[T]公益・法人総計(合計)	
I 一般正味財産増減の部					
1. 経常増減の部					
経常収益 (収入)	(1) 経常収益 [収入]				
	受取会費 (入会金)	47,500	47,500	95,000	
	(正会員会費収入)	1,365,000	1,305,000	2,670,000	
	(維持会員会費収入)	3,000,000	2,970,000	5,970,000	
	事業収入 (広告収入)	1,813,104	0	1,813,104	
	(交流、キャンペーン等収入)	5,552,007	0	5,552,007	
	受取寄付金 (寄付・協賛金)	3,350,000	0	3,350,000	
	受取利息	0	0	0	
	雑収入	1,598	39,124	40,722	
	経常収入計 (収入高合計)	15,129,209	4,361,624	19,490,833	
	経常費用 (事業費・管理費)	(2) 経常費用[事業費・管理費]	事業費	管理費	
		給料手当	3,914,862	2,594,347	6,509,209
		法定福利費	267,690	206,423	474,113
		退職給付繰入額	45,000	30,000	75,000
外注費		2,943,614	0	2,943,614	
荷造運賃		163,897	1,800	165,697	
広告宣伝費		1,174,278	0	1,174,278	
会議費		29,450	41,550	71,000	
旅費交通費		65,880	6,690	72,570	
通信費		984,057	290,562	1,274,619	
会合費		5,306,824	71,472	5,378,296	
消耗品費		404,253	241,416	645,669	
事務用品費		0	0	0	
新聞図書費		101,851	0	101,851	
諸会費		5,000	0	5,000	
賃借料		104,029	69,352	173,381	
租税公課		8,000	12,900	20,900	
雑費	285,509	107,800	393,309		
経常費用計 (事業費・管理費計)	15,804,194	3,674,312	19,478,506		
当期経常増減額 (事業損益金額)		-674,985	687,312	12,327	
当期一般正味財産増減額 (当期純損益金額)		-674,985	687,312	12,327	
一般正味財産期首残高				6,100,031	
一般正味財産期末残高				6,112,358	
III 正味財産期末残高				6,112,358	

公益社団法人北海道倶楽部 平成28年度定時会員総会招集通知

正会員、維持会員 各位

公益社団法人北海道倶楽部
代表理事 理事長 岡村 進

公印省略

平成28年度定時会員総会を下記の通り行いますので、お忙しいところ恐縮ですがご参集下さい。

記

開催日時：

平成29年3月3日12時30分より（約1時間の予定。12時開場。昼食の用意はありません。）

開催場所：

永田町ほっかいどうスクエア2階会議室（北海道倶楽部事務所の2階、貸会議室なので開場前には入れません。少々手狭です。）
千代田区永田町2-17-17、03-3581-4021(北海道倶楽部の電話番号)

議事に付すべき事項：

別紙「平成28年度定時会員総会 議案」の通り。

議決権行使会員：

会員総会の議決権を持つ会員は、「正会員」及び「維持会員」で、各1個の議決権を持っています。
(登録会員は議決権はありませんが、維持会員として、維持会員の議決権行使書を持参し、議決権を行使することが出来ます。)

議決権行使方法について：

議決権は、議決権を持つ「正会員」及び「維持会員」が下記の方法により行使して下さい。

1. 「会員総会出席による議決権行使」
2. 「委任による議決権行使」(欠席で「委任による議決権行使」欄が無記入の場合は議長に委任したものとさせていただきます。)
3. 「事前の議決権行使」

いずれも、招集通知に同封した【北海道倶楽部定時会員総会の議決権行使について】に記入の上、「郵送」、「FAX」、又は「スキャンしたものをメールに添付」の方法でなるべくお早めに（遅くとも総会開催まで）に北海道倶楽部宛に送付して下さい。

会員総会の招集通知は北海道倶楽部に登録された会員（社員）の住所地に送付しています。招集通知に同封した、【北海道倶楽部定時会員総会の議決権行使について】の用紙（右欄参照）を使って倶楽部宛に送付されたご連絡は会員の真正な意思表示とさせていただきます。

1. 会員総会出席による議決権行使：

会員総会出席者は原則として「議決権行使書と議案（本書）」を持参の上、会員総会に出席し議決権を行使する。

2. 委任による議決権行使：（定款第18条第2項）

招集通知に同封した【北海道倶楽部定時会員総会の議決権行使について】に印刷された【委任による議決権行使】欄に記入の上、北海道倶楽部宛に送付する。

受任者は原則として議決権行使書を持参の上、会員総会に出席し議決権を行使する。

3. 事前の議決権行使：（定款第18条第1項）

招集通知に同封した【北海道倶楽部定時会員総会の議決権行使について】に印刷された【事前議決権行使】欄に記入の上、北海道倶楽部宛に送付する。

【北海道倶楽部定時会員総会の議決権行使について】

(下記□にチェックを入れ至急送ってください。未記入の場合議決権行使を議長に委任するとさせていただきます。)

【北海道倶楽部定時会員総会の議決権行使について】

出席 (議決権行使書と議案をご持参ください。)

欠席 (委任もしくは事前議決権行使)

▼出席、委任されない方。

【事前議決権行使】(“否”の場合のみ下記□内に×をご記入ください。)

※賛成の場合は□に何も記入しないでください。

承認事項

<input type="checkbox"/> 損益計算書（正味財産増減計算書）
<input type="checkbox"/> 貸借対照表 <input type="checkbox"/> 財産目録
<input type="checkbox"/> キャッシュフロー計算書
<input type="checkbox"/> 計算書類に対する注記
<input type="checkbox"/> 監査報告書

平成29年3月3日（正会員・維持会員のID、お名前・ご担当）

(ID-101186 維持会員)

稚内市

渡邊 祐子

至急送付ください。総会開始前必着でお願いいたします。この葉書を「郵送」、「FAX」又は「スキャンしメールに添付」して送ってください。

以上

公益社団法人北海道倶楽部 (TEL:03-3581-4021)

郵送先：〒100-0014 東京都千代田区永田町2丁目17-17

FAX先：03-3581-4022

mail：hkkl-clb@soleil.ocn.ne.jp